

株主通信

第58期
2022年2月期

2021.3.1 >> 2022.2.28

◆グループ理念

私たちは「安全・安心」と「価値ある商品・サービス」の提供を通じて、お客様の健康で豊かな食生活に貢献します。



環境の変化に全力で対応し、持続的成長を目指します

✦ 経営環境

本年3月に代表取締役社長に就任した辻英男でございます。第58期の株主通信をお届けするにあたり、株主の皆様の日頃の温かいご支援に対し心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、いまだに収束の兆しが見えず予断を許さない状況が続いております。食品業界におきましてはコロナ禍における新しい生活様式に基づく消費者需要の変化への対応が求められ、さらには、一部原材料価格の上昇も加わり厳しい経営環境となっております。

✦ 経常利益、当期純利益は過去最高を更新

このような環境下、当社の2022年2月期(第58期)の業績につきましては、売上高が全ての事業セグメントで外出の自粛や経済活動停滞の影響を受けたものの、主力事業の食品関連事業や、物流関連事業では前期から一部持ち直しております。しかしながら、人材派遣関連事業からの撤退影響もあり、前期に比べて減収となりました。利益面では、食品関連事業におけ

る海外事業の好調や食材関連事業における棚卸資産評価損の解消などにより各利益は前期に比べて増益となり、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は過去最高を更新いたしました。

✦ 配当金

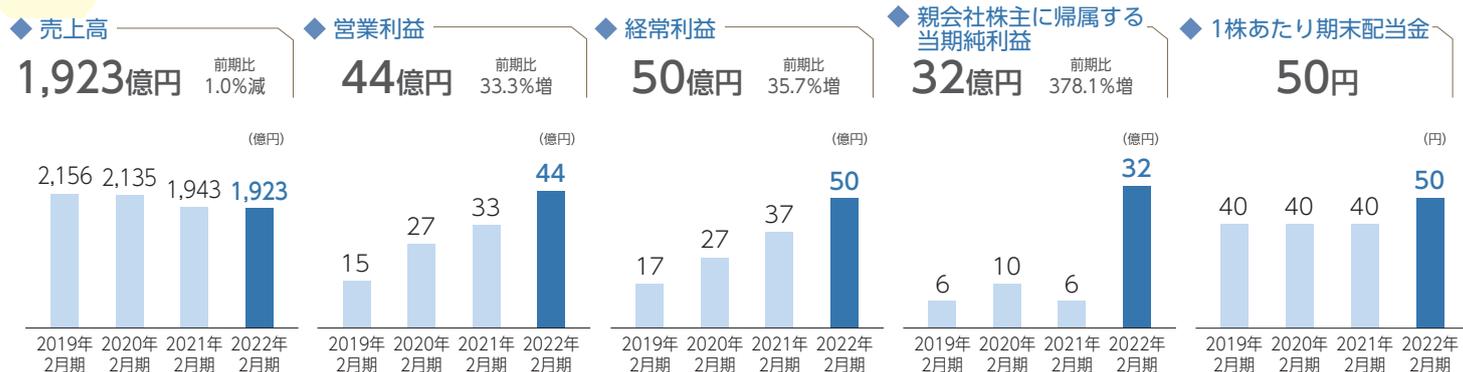
最高益を更新した2022年2月期の配当につきましては、前期に比べ10円増額し、1株あたり50円といたしました。今後も既存事業の収益性向上に加えて成長分野での事業の拡大を図ることにより、持続的な成長を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援とご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

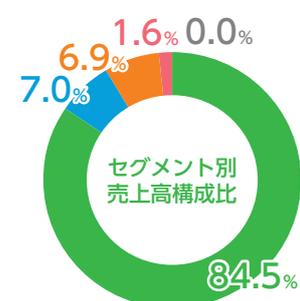


代表取締役社長 辻英男

2022年2月期 決算ハイライト



セグメント別の概況



	食品関連事業	食材関連事業	物流関連事業	食品製造設備関連事業	その他
売上高	1,625億円 前期比 1.3%増	133億円 前期比 10.7%減	132億円 前期比 1.1%増	31億円 前期比 112.7%増	0.3億円 前期比 99.1%減
営業損益	42.8億円 前期比 0.7%増	2.7億円 前期は7.5億円の営業損失	6.1億円 前期比 37.5%増	0.8億円 前期は0.1億円の営業損失	△1.3億円 前期は2.7億円の営業損失

※2021年6月 本事業から撤退

詳細な財務情報はこちらをご覧ください ▶ www.warabeya.co.jp/ja/ir/library/result.html

+ 新社長メッセージ

当社の強みである 食品加工技術で 成長を目指します

代表取締役社長 **辻 英男**



+ わらべや日洋グループの強みについて

「食」は健康の基本であり、健康の源。だからこそ、私たちは、おいしさ、安全・安心にこだわり、あらゆる努力を続けています。その取り組みの基盤となっているのが当社グループの強みである「商品開発力」、「生産技術力」そして「品質・衛生管理力」です。まず「商品開発力」ですが、お客様のニーズに応える商品を提供するため、200人体制で商品の開発に取り組んでいます。次に「生産技術力」については、大量生産の中でも品質の高い商品を同じように作る事が求められることから、全従業員に対する教育や研修の強化、新しい設備の導入など、ヒト・モノ両面で力を入れています。最後に「品質・衛生管理力」については、我々のグループ理念にも掲げられている「安全・安心」を守るものであり、食品メーカーとして最も大切にしなければならないものであるとの認識から、特に力を入れています。

グループ理念
私たちは「安全・安心」と「価値ある商品・サービス」の提供を通じて、お客様の健康で豊かな食生活に貢献します。

+ 今後の成長戦略について

当社グループが取り組むべき成長のための中期戦略として、大きく以下の3つがあります。

- 国内食品関連事業の収益拡大と消費者需要の追求
- グループ関連事業の収益性向上
- 海外食品関連事業の拡大

1つ目の国内食品関連事業においては、ここ数年行ってきた工場再編を中心に収益体質の強化が進んできましたので、今後は攻めの展開を目指していきます。2つ目のグループ関連事業では、市場のニーズを踏まえた選択と集中により取

益性を高めていきたいと考えています。3つ目の海外食品関連事業ですが、当社グループの今後の成長に重要な領域だと認識しています。これまで米国のハワイやテキサスの工場で培ってきた経験とノウハウを活かして2023年に稼働予定のバージニア新工場をしっかりと立ち上げ、さらに、それと並行して次なる施策の検討を進めていきます。

なお、海外食品関連事業は市場の成長という面で勢いがありますが、食品加工技術など国内あつての海外だと考えており、国内・海外の両輪でトップラインを上げていきます。今ご説明した戦略を成功に導き、中期経営計画の達成を目指します。



+ サステナビリティに対する考え方と今後の取り組み

サステナビリティの取り組みについては、持続可能な社会の実現に向けて、企業としても役割を果たしていかなければならないと認識しています。特に中食事業においては、食を通じた健康、事業拡大による環境への影響などに対して果たすべき責任と役割が大きいと考えています。このような認識のもと、当社グループはサステナビリティ経営を推進するため、2021年12月にサステナビリティ委員会を、2022年3月にはサステナビリティ推進室を設置し体制を整備しました。また、現在は当社グループとしての「重点課題(マテリアリティ)」の特定を進めており、それに基づいたア

クションを通してSDGs(持続可能な開発目標)達成に貢献していきます。

+ 株主還元について

当社は、連結業績や今後の事業拡大投資のための内部留保などを勘案しつつ、連結配当性向25%をめどに配当を実施していくことを基本方針としています。おかげさまで、2022年2月期は厳しい環境ではありましたが業績も回復したことから、前期から10円の増配をしました。今後も持続的な成長とともに株主還元も着実に進めていきたいと考えています。

リーダーとして大切にしていきたいこと

私は食品の物流を手掛けるニチヨーキャリア(現 株式会社ベストランス)に入社し、その後、わらべや北海道で食品の製造販売に携わりました。そのような環境が変わる中で、人から謙虚に学ぶことの大切さを痛感したことから、リーダーになってもその気持ちを大切にしていきたいと考えています。

当社グループは、長年「人を大切にできる会社」をモットーとしてきました。今後も、社員と目線を合わせながら様々な課題に取り組み、変えるべきところは変え、ともに成長をしていきます。



+ 最後に

当社グループが掲げるグループ理念の実現を推し進め、持続的な成長を果たすためには、グループの全従業員が理念を共有し、一人ひとりの力を結集することが大切だと考えています。

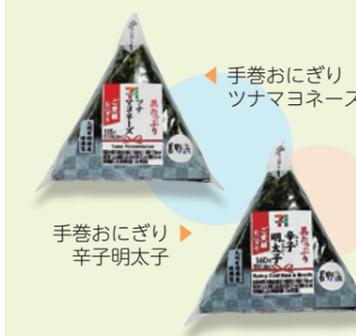
今後もその気持ちを忘れることなく、当社グループのさらなる発展を目指してまいります。

株主の皆様には今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

通期の見通し / 2023年2月期連結業績予想



わらべや瓦版 地消地産・地産地消！長野県産米手巻おにぎり



事業を通じたサステナビリティ活動の取り組みの一つとして、わらべや日洋食品株式会社では新型コロナウイルス感染症の拡大により需要が落ち込んだ全国各地の食材の活用を支援するため、地域ごとに特徴ある商品の開発に力を入れています。

今般参画した長野県が主催する県産食材の販路拡大支援事業、「県産食材「食べて応援」地消地産・地産地消の取組」では、長野県産米を使用した手巻おにぎり4品(手巻おにぎりツナマヨネーズ、手巻おにぎり辛子明太子、手巻おにぎり昆布、手巻おにぎり豚キムチ)を開発し、2021年12月に地域限定で販売しました。これらの商品は非常に好評で、うち2品は2022年1月に再販売をするに至りました。今後も地域の皆様とともに、持続可能な社会の実現に向けて、取り組みを継続していきます。



商品開発 NEWS

新発見! 異色のバディ大福 アマニとあんこ

Q アマニ油で知られるアマニを和菓子で使おうと思ったきっかけは何でしょうか。

A コロナ禍で高まった健康志向に、皆さまの大好きな和菓子でお役に立てないかと考えたことをきっかけに、「栄養成分の豊富なアマニを使ったものを作ってみよう!」となりました。



販売エリア:全国

Q 商品の開発での苦労をおしえてください。

A 苦労は色々あったのですが、なかでもゴマよりひと回り程度大きいアマニ粒の“量”に手を焼きました。アマニの量が多いと油っぽくなり、少ないとアマニを感じられないため、一般的なものに比べて3倍程度の試作を重ねる結果になりました。粒あんにマッチする適量のアマニ粒を大福生地に練りこんだこの商品は、その名のとおり、意外な組み合わせのなかに新しい発見を感じていただけるものに仕上がったと思います。

どらやきマリトツツォ

Q 商品開発でこだわった点をおしえてください。

A マリトツツォは、味に加えて丸いパンにたっぷりのクリームが挟まれたかわいらしい見た目も人気の理由だったことから、商品開発では外見を強く意識しました。

崩れやすいクリームを、この商品のためだけに開発した専用器具できれいに成形することで、当社ならではの、「和」のテイストのマリトツツォができました。



現在は販売しておりません。

株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。



<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 2918

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



*本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。https://www.link-cc.co.jp

*ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」MAIL: info@e-kabunushi.com

■ 会社概要 (2022年2月28日現在)

商号	わらべや日洋ホールディングス株式会社 (WARABEYA NICHIO HOLDINGS CO., LTD.)
設立	1964年3月18日
資本金	8,049百万円
従業員	(連結)社員1,961名/ 臨時従業員7,722名(1日8時間労働換算)
発行可能株式総数	55,000,000株
発行済株式の総数	17,625,660株(自己株式11,848株含む)
株主数	18,852名

■ 株主メモ

事業年度	3月1日から翌年2月末日まで	連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話0120-232-711 (通話料無料)
定時株主総会	5月	郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
定時株主総会の基準日	2月末日	公告掲載URL	https://www.warabeya.co.jp/ja/ir/accounting.html ただし、事故、その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
配当金受領株主確定日	(期末配当金) 2月末日		
株主名簿管理人特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		

わらべや日洋ホールディングス株式会社

〒162-8020 東京都新宿区富久町13番19号
TEL:03-5363-7010(代表)
https://www.warabeya.co.jp/ja/index.html



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



環境保全のため、FSC®認証紙と植物油インキを
使用して印刷しています。

